



Chorus Ohyama with Orchestra Ensemble Kanazawa

合唱団おおやま

～モーツァルト「レクイエム」& 世界の歌メドレー～

with オーケストラ・アンサンブル金沢

とき / 2002年9月1日(日) 13時30分開場 14時開演

ところ / 大山町民文化会館大ホール

主催 / 大山町・大山町教育委員会・合唱団おおやま・(財)石川県音楽文化振興事業団

共催 / 北日本新聞社 後援 / FMとやま

大山町の助成金により低料金で鑑賞できます

♪演奏曲目

I 世界の歌 / 編曲 榊原 栄

ドレミの歌 — エーデルワイス — フニクリ・フニクラ —
ローレライ — ふるさと — 小さな世界

————— 休憩(15分間) —————

II モーツァルト レクイエム ニ短調 K.626

- 1 **Introitus : Requiem aeternam** ———— 入祭誦 : 永遠の安息を与えたまえ
- 2 **Kyrie** ————— 主よ、憐れみたまえ
- 3 **Sequentia** ————— 続誦
 - (1) *Dies irae* ————— 怒りの日
 - (2) *Tuba mirum* ————— ラッパは驚くべき音を
 - (3) *Rex tremendae* ————— 恐るべき御稜威(みいつ)の大王よ
 - (4) *Recordare* ————— 思い出したまえ、慈しみ深きイエスよ
 - (5) *Confutatis* ————— のろわれた者どもを罰し
 - (6) *Lacrimosa* ————— 涙の日なるかな
- 4 **Offertorium** ————— 奉納誦
 - (1) *Domine Jesu* ————— 主イエス・キリスト
 - (2) *Hostias* ————— 賛美といけにえと祈りを
- 5 **Sanctus** ————— 感謝の讃歌
 - (1) *Sanctus* ————— 聖なるかな、万軍の神たる主
 - (2) *Benedictus* ————— ほむべきかな、主の名によりて来たる者
- 6 **Agnus Dei** ————— 平和の讃歌 : 神の小羊
- 7 **Communio : Lux aeterna** ————— 聖体拝領誦 : 永遠の光が

Chorus **Ohyama**
Orchestra **Kanazawa**
Ensemble

♪楽曲解説

モーツァルトの死の年である1791年7月、モーツァルトは名を明かさぬ依頼人からレクイエムの作曲を依頼される。

この依頼人はオーストリアのある伯爵で、愛妻の命日に自分が作曲した曲として演奏するため、名を明かさずに依頼したが、すでに健康を害していたモーツァルトは、この無署名の依頼状を持ってきた男を、地獄からの使者であるとさえ幻想し、それに催促されるような思いで、また自分の死のための「レクイエム」だとも思いながら、死の前日の12月4日まで作曲を続けた。しかし、ついに未完のままモーツァルトはこの世を去ってしまったのである。

モーツァルトが作曲したのは、第1曲のレクイエムから、ラクリモーサの8小節までであり、ドミニクイエスとオステアスは、音楽の骨組みだけを作っている。

これを弟子のジェスマイヤーが補作して完成されたものが広く演奏されており、今回この楽譜によっている。

なお「レクイエム」というのは、死者のためのミサ曲のことで、亡くなった人の安息を祈るカトリック教会の儀式の際の音楽を指す。

モーツァルトの絶筆となったこの「レクイエムニ短調」は、ヴェルディ、フォーレのレクイエムとともに「三大レクイエム」と称される傑作である。

♪指揮者



Kazufumi Yamashita, Conductor
山下 一史

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、(故) 森正の各氏に師事。

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝する。

1985年12月からヘルベルト・フォン・カラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントをつとめ、86年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急遽、急病のカラヤンの代役として、ジーンズ姿のまま「第九」を指揮し、話題となった。その成功以来、ザルツブルク・フィングステン音楽祭でカラヤンのスタンバイ指揮者として契約、以後、着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までスウェーデン・ヘルシンボリ交響楽団の首席客演指揮者をつとめた。

日本国内では1988年から1995年までNHK交響楽団の副指揮者、1996年から1999年九州交響楽団の常任指揮者をつとめた。現代作品の演奏にも定評があり、1996年日本音楽コンクール作曲部門の指揮において審査員特別賞を受賞。

大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウスでは2001年夏のモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」公演に続き、2002年夏のモーツァルト「魔笛」公演を指揮、本格的なオペラ・プロジェクトへの意欲のある取り組みにますます高い評価を得ている。

2002年4月よりオペラハウス管弦楽団常任指揮者に就任。今後の活躍が一段と期待される才能をもつ指揮者である。

♪ソリスト



ソプラノ/堀 裕美子

1996年同志社女子大学音楽学科音楽学コース卒業。音楽美学を幣原映智氏に学ぶ。1998年より内山太一氏に声楽を学び始め、各種多様なジャンルのジョイントコンサートに出演。

2001年「サウンド・オブ・雅 in トヤマコンサート」にて岡田純明氏(尺八)、益田賢治氏(シンセサイザー)と共演。

2002年12月に第1回ソロリサイタルを企画。演奏者として活躍する傍ら、福祉施設にて合唱などの指導者としても活躍。



アルト/中田 勝代

国立音楽大学教育音楽科卒業。

声楽を小野邦代、浅岡光代、志村年子、内山太一各氏に師事。

富山放送合唱団、富山アカデミー女声合唱団、同重唱団で活躍の後、丘声会女声合唱団「コロ・アンジェリカ」を経て、現在は入善混声合唱団、「大地の会」

女声合唱団で活躍。また、丘声会オペラ「月の世界」「フィガロの結婚」「ジャンニ・スキッキ」や富山市民オペラ「あまんじゃくとうりこ姫」等に出演し好評を博す。

入善混声合唱団事務局長、黒部第九を歌う会のスタッフとして幅広く活躍している。「丘声会」「大地の会」会員。黒部市在住。



テノール/黒崎 隆憲

国立音楽大学声楽学科卒業。井上貞一、敦子、浅岡光代各氏に師事。

これまでにベートーヴェンの「第九」「合唱幻想曲」、モーツァルトの「戴冠ミサ」、コダーイの「テ・デウム」、バッハの「カンタータ」、ヘンデルの「メサイア」等のソリストを務める。

オペラでは、「月の世界」(ハイドン:作)のエックリーテコ、「フィガロの結婚」(モーツァルト:作)のアルマヴィーヴァ伯爵、フィガロ、「魔笛」(同:作)のモノスタス、「コシ・ファン・トゥッテ」(同:作)のグリエルモ、「アマールと夜の訪問者」(メノッティ:作)のカスパー、
「ヘンゼルとグレーテル」(フンバーディング:作)の魔女、「蝶々夫人」(ブッチェリ:作)のゴロー、
「ラ・ボエーム」(同:作)のショナル、「ジャンニ・スキッキ」(同:作)のゲラルド等を務める。

現在、富山県立呉羽高等学校教諭、富山県声楽家協会会員、富山県オーケストラ連盟常任理事、富山県高等学校文化連盟器楽・管弦楽専門部代表



バス/内山 太一

武蔵野音楽大学声楽科卒業。ミュンヘン国立音楽大学卒業。

シューベルトの三大歌曲集「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」「白鳥の歌」等のドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。藤原歌劇団公演のオペラや、「メサイア」ベートーヴェン「第九」等、数多くのコンサートに出演。

NHK、FM等ラジオ、テレビにも出演。1993年再度1年間ドイツに留学。

合唱団おおやま、入善混声合唱団、コスモホール少年少女合唱団「くびーど」、上市町子供の城児童合唱団、等の指導。

元武蔵野音楽大学声楽科講師。元洗足学園魚津短期大学声楽科講師。大地の会主宰。

Chorus Ohyama

合唱団おおやま

95年8月に大山町民を中心に結成。96年8月に第1回の「夏のメサイア」を公演。
以来「メサイア」の公演を重ねる。昨年は初めてモーツァルトに取り組み、「戴冠式ミサ」を演奏。
今回が7回目の公演である。毎週水曜日の夜に、大山町民文化会館で練習を行っている。

ソプラノ

板 直子 / 岩竹 幸絵 / 岡本 紀子 / 加藤 一美 / 木村まゆみ
熊倉 理子 / 梶田 修子 / 武部由貴美 / 谷崎キミ子 / 谷崎 千鶴
谷本真理子 / 中川 律子 / 橋場 映子 / 宮原百合子

アルト

麻島 利子 / 井上 澄子 / 稲垣 聖子 / 奥野 知子 / 片山美富里
小泉 康子 / 新村まゆみ / 高木 茂子 / 高橋 英子 / 仲井 葉子
野入美津恵 / 早水 淑子 / 平崎 康子

テノール

谷崎 修一 / 東海 廉之 / 東福 光晴 / 森清 篤実

バス

大磯 覚昌 / 窪田 英史 / 野入 豊光 / 松井 輝 / 宮元 美信
横山 研

合唱指揮 内山 太一 コレペティトゥーア 板 直子

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。山崎道子、三津橋文子、森山ゆり子諸氏に師事。
1993年より板直子&長崎裕子アンコール・プリュピアノデュオコンサート(第1回~第4回)を開催。
1994年、第2回国際ピアノデュオコンクール(於東京)本選出場、入選。
その他、むさしの会市民ホールコンサート、黒部名水の里第九コンサート等に出演。
また、声楽や器楽の伴奏も行う。
現在、(株)開進堂楽器音楽教室ピアノ講師、富山市医師会看護専門学校非常勤講師、
国際ピアノデュオ協会会員、富山県ピアノ指導者協会会員、
合唱団おおやまピアニスト、アンコール・プリュ主宰。



Orchestra Ensemble Kanazawa

オーケストラ・アンサンブル金沢

1988年音楽監督に岩城宏之氏を迎え、日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。
世界中よりメンバーを公募し、約40名が在籍、外国人奏者も多い。
また設立時より日本では最初の専属作曲家による現代曲委嘱初演制度を実施。これらの作品は「21世紀へのメッセージ」として
ドイツ・グラモフォンでCD化している。国内外で積極的に演奏活動を展開。
このような活動が認められて94年飛騨古川音楽大賞、95年出光音楽大賞、96年中日文化賞の各賞を受賞している。
2002年NHK大河ドラマ「利家とまつ」のテーマ音楽を演奏して話題を呼んでいる。